

## 出生数の減少と職場でのジェンダーギャップ

厚生労働省の報告によると、日本の出生数は第二次ベビーブーム以降年々減少し、2023年には75万8,631人と過去最少となった。この数値は当初2035年の推計値であったが、想定よりも10年以上早く少子化が進んでいるとのことである。さらに、最近では個人個人が自分の生き方を大切にする傾向が強くなったため、婚姻件数も減少し、2023年には50万件を下回った。



結婚する相手との出会い方にも大きな変化が起きている。これまで主流であった恋愛結婚は大きく減少し、SNSやマッチングアプリなどインターネットでの出会いが契機となったカップルの比率が急増しているとNHKのニュースでも見たことがあり、昭和世代の私とは違って社会環境や価値観に大きな変化がみられている。この新しい社会現象に対して、多くの自治体が子育てや婚活への取り組みに注力し始めている。特に最近注目を浴びているのが、人工知能(AI)を活用したマッチングシステムである。携帯アプリからいろいろな条件を入れるだけで、自分にマッチした相手をAIが自動的に選んでくれる、まさに携帯世代の若者には大うけする手法である。2025年には出生数がさらに大幅に減少する可能性があると言われており、この背景には、夢のある将来の生活が若者にはイメージできないことに加えて、職場でのジェンダーギャップの問題があるとの意見もある。

最近の学会では必ずと言ってよいほど特別企画で取り上げられている「医師の働き方改革」や「女性のキャリアアップ支援」であるが、女性医師の講演の中での「職場に戻って働きたいと考える女性は多いが、働きながら家庭内の家事や育児、介護を引き受けざるをえず、結果的にこれらが女性の職場復帰への意欲を低下させ、機会を奪ってしまう。職場でのジェンダーギャップをなくしていくことが何よりも必要で、男女がともに家事・育児をして働くことができ、お互いに支えていく職場環境を整備していくことが必要だ」との言葉が印象的であった。

(船橋公彦)

顧問 森岡恭彦 今村正之 山崎洋次 幕内雅敏 名川弘一  
亀岡信悟 國土典宏 幸田圭史 佐野 武  
編集 長谷川 潔 船橋公彦 山下裕玄

臨床雑誌 外科 第87巻 第2号(2月号) 2025年2月1日発行(1095号)  
編集兼発行者 東京都文京区本郷三丁目42番6号 小 立 健 太  
印刷所 東京都千代田区飯田橋二丁目15番5号 日経印刷株式会社

発行所 ☎113-8410 東京都文京区本郷三丁目42-6(営業) TEL 03-3811-7239: 振替口座 00120-1-149 番  
株式会社 南江堂 (編集) TEL 03-3811-7619 FAX 03-3811-8660 <https://www.nankodo.co.jp/>

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権(送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物の利用に関する原著者の権利は、株式会社南江堂が保有します。

・JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

広告申込所: ☎113-0033 東京都文京区本郷5丁目24番6号本郷大原ビル6階 文京メディカル TEL 03-3817-8036